



英真学園高等学校の本館は、八角形のシンボル塔が目印になっている



英真学園高等学校へ感謝の気持ち

大阪市淀川区の十三駅近くにある英真学園高等学校は、全校生 868 人、創立 90 年をこえる歴史ある共学の私立高校です。

2016（平成 28）年に、生徒会の生徒と教員 6 人が、ホッとネットおおさか（大阪府下避難者支援団体等連絡協議会）が運行する“里帰りボランティアバス”に乗車。避難者や仮設住宅で暮らす住民らと交流しました。

その後、その思いを全校生徒に伝え、英真祭のチャリティバザーや模擬店の収益金を寄付する活動や、避難者交流会に参加するなど震災を風化させない取組みを続けています。このような継続的な支援に感謝をこめて、7月20日終業式（英真祭）で全校生徒の前で、ホッとネットおおさかより、感謝状を贈呈しました。

7月20日英真祭&終業式



当日は、英真学園高等学校川坂昌裕校長先生にご案内いただきました



延期していた英真祭は終業式の日を実施されました



ダンスや劇、映像をつかった演出などクラスごとに発表がありました

自分の目で見て、感じて

全校生徒を代表して感謝状を受け取った生徒会会長 3 年生の相原海人さんは、「6 月の大阪府北部地震で、災害は身近に起こるものと実感しました。自分たちは、東北に行けなかったのが、次の世代で、ぜひ東北に行って、自分の目で見て感じ、考えたことを、他の生徒にも発信してもらいたい」と思いを語ってくれました。

大阪府北部地震で延期になったチャリティバザーは、10月4日の体育祭で実施することが決まっています。




生徒会会長 3 年生の相原海人さんに感謝状をお渡ししました

ありがとう
いもにかい

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

暑さで復活しそうな方言「ホメク」 

蒸し暑い日が続いています。まさに「ホメク」という大阪の方言がぴったりな毎日です。

● ホメクは16世紀の終わり頃から文献で確認できる言葉です。蒸し暑い時期に体が火照るという意味で使われていました。

● ホメクの「ホ」は「炎（ホムラ）」「火影（ホカゲ）」などに使われる火という意味の「ホ」に由来し、「春めく」「時めく」「ざわめく」などの接尾辞「メク」が合成して生まれた言葉であると考えられます。接尾辞「メク」は「～の状態になる」という意味ですから、ホメクは火のような状態になるということです。

● ホメクが使用されるのは北陸以西です。「暑さに関する言葉だから東北では使われない」と考えたくなくなります。けれども、ホメクという言葉が生まれたのが京阪の言葉が全国的な影響力を失いつつあった中世の終わり・近世の始まりであったことを踏まえると、江戸を経由して東北まで伝わらなかったと考える方が蓋然性があります。

● 若い世代はホメクを使いませんが、この暑さで復活してもおかしくありません。それくらい、今年は例年になく暑いですね。暑さに負けずがんばりましょう……ではなく、暑さを感じたら絶対無理のない行動をとりましょう。

追手門学院大学経済学部 講師 櫛引祐希子

※方言に関するご質問やご意見がありましたら、こちらまで。 yukushib@otemon.ac.jp

Café IMONIKAI のご案内

毎月開催の交流会★みんなでゆっくり
お話ししましょう。途中参加、途中退室は自由。
当日参加も大歓迎です。

9/18(火) 10/17(水) 11/20(火)

時間：いずれも10:30～15:00

場所：大阪市立社会福祉センター内

問合せ：sandori2014@gmail.com

※保育が必要な方は2週間前までにご相談ください。

©日本産業カウンセラー協会

避難者・ご家族向け 訪問カウンセリング

問合せ・利用申込み 06(4963)2357

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目4番8号

エスリードビル本町8階

発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
(協力:大阪市各区社会福祉協議会)

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10

TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618

Eメール: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当:浜辺)

《利用時間》 月・水・金 9:30～20:30

火・木・土 9:30～17:00

(日曜・祝日及び年末年始休館)

-お知らせ-

7月8日に予定していた「ホッとネットおおさか 避難者交流会」は、当日、大阪府域内に大雨警報が発令されたため延期になりました。楽しみにされていたみなさまには、大変ご迷惑おかけしました。今後の開催については、次号以降の情報紙 IMONIKAI でご案内させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

